

宮城県における御遺体の検案および身元確認活動

警察庁の依頼により、福井大学では、3月17日から25日までの期間、同大学医学部の島田一郎准教授を派遣し、宮城県内においてご遺体の検案及び身元確認活動を行いました。

この期間、角田市、石巻市などで141件の死体検案書を作成いたしました。現地の先生方だけの死体検案書作成では御遺体の傷みが経過し過ぎるという惨状でした。死因は、1例のみが凍死でその他の事例は全て溺死でした。

また、身元確認のためのDNA多型検査用の試料採取（血液および爪）も行いました。今後の大規模災害に備え、警察へのDNA多型結果登録に対する希望者への補助も考えてよいのではないかと考えられます。

今回の活動を今後の福井県での大規模災害時の際の対応に役立たせたいと考えております。



(石巻市立大川小学校付近の惨状)